

B-Music DICTIONARY

BIG MOUTH 20th anniversary

EST2000

DISC_1

1. 自惚れ／阿部洋史
2. 言えなかった言葉／潮田和也
3. 帰り道／佳納子
4. 鳥の唄／神川圭司
5. うつくしい人生／kanHAAEM
6. うそ／kik2i
7. 赤ランプ／グッド・イズ・グッド!
8. ふらヨロ／Club Beggar
9. Sweet Boy Black／クロキユウタ
10. なみき道／斉藤みつる
11. ギアトレイン／shiro
12. 落とし物／須藤理希
13. 深海／センターフィールド中野
14. Hum／タカスギケイ
15. My Friend／TAKE



DISC_2

1. ある老犬の昼夢／たろすけ
2. 夏休み／TeLMA
3. 花／DRIED BONITO
4. 月はポケットに隠して／西海シゲルとアラケン
5. In This World／NUEST YUJI
6. アポ／野良
7. farewell／長谷川光志
8. 森巖寺西／畑崎大樹
9. フランキーなビートに乗かって…／みつを
10. シャム猫のブルース／ミヤト
11. LION／808
12. love song.／有美
13. ルシファー／吉本ヒロウ/ウッシー
14. 時計／RIRI

DISC_1

1. 自惚れ / 阿部洋史

作詞・作曲 阿部洋史 ギター：タダフジカ
パーカッション：越智秀之

君は本物？ これは現実？
急に現れた君に振り回される、寂しがり屋の君
本当はほしくてほしくてたまらないのに
でも君はちょっと遠慮きみ、たまにいごち恋そう
大丈夫ちゃんと隣にいるよ、心配しないで
首みたいなの悪さはしない、今は君だけ、首ったけ
少しでも元気になってもらいたい
君の抱えた問題 半分こ
自分も持つよ一緒に分け合おう

刻むリリック 鳴らすリズム
言葉を紡ぐ その幸せ
人は何故、人を愛する
人は何故、誰かを想う

2人はどっか似ている、似た者同士
互いに違う時間生きてきた、でも今は一緒
同じ夢をみる、同じ音楽を聴く
おはよう、調子どう？、で始まる2人のライン、それはサイン
楽しいばかりじゃない
イライラ、モヤモヤだってつりつもあるよ。
それでも愛そう、愛を分け合おう
君と半分こ、痛みだって連れて行くよ
互いに欠陥だらけ、マイナスとマイナス
でも掛け算すればプラス、要は考えよう
大切な事に気付けるかどうか？
見えない未来に、互いに、ちゃんと、手を伸ばそう

刻むリリック 鳴らすリズム
言葉を紡ぐ その幸せ
人は何故、人を愛する
人は何故、誰かを想う

刻むリリック 鳴らすリズム
言葉を紡ぐ その幸せ
人は何故、人を愛する
人は何故、誰かを想う

君と歩いた海岸線
砂に足を取られながら歩いた波打ち際
ゆっくりゆっくり歩いたんだ
後ろには互いの足跡、互いのペース確かめながら歩く
空は曇り、遠くの雲間から、光
日はゆっくり傾き、街を照らす明かり
のらり、くらり、ゆらり、のらり、くらり、ゆらり
手を繋ごう、暗い夜道も2人なら明るい
きつと何だってできるよ、互いに分け合おう
今は暗闇だってこない
互いに不器用、それでも手を繋げば

刻むリリック 鳴らすリズム
言葉を紡ぐ その幸せ
人は何故、人を愛する
人は何故、誰かを想う

刻むリリック 鳴らすリズム
言葉を紡ぐ その幸せ
人は何故、人を愛する
人は何故、誰かを想う

その謎は紐解けないよ、溶けないように、解けないように
君を愛そう、愛を分け合おう、君と半分こ
痛みだってつれていく

刻むリリック 鳴らすリズム
言葉を紡ぐ その幸せ
人は何故、人を愛する
人は何故、誰かを想う

2. 言えなかった言葉 / 潮田和也

作曲 潮田和也

3. 帰rido / 佳納子

作詞・作曲 佳納子

溜め息灰色帰りの道で すれ違ひざま舌打ちが刺す
道端に揺れる名前もない花 あなたの名前を呼んでみる

あの頃僕は公園のベンチで
いついつまでも笑ってられた
あの日誓った言葉達は
空に飛んでった風船と

傘から落ちる雫のように いつか僕も消える

もがくほどもがくほど沈んでく
もがくほどもがくほど埋れてく
それでもそれでも僕を離さない
あなたが最後に笑えればいい

あの頃僕は公園のベンチで どこどこにでも飛んでいった
あの日誓った言葉達は 砂浜に書いた文字と

傘から落ちる雫のように いつか僕も消える

もがくほどもがくほど沈んでく
もがくほどもがくほど埋れてく
それでもそれでも僕を離さない
あなたが最後に笑えればいい

泣きながら歩いて帰った日
やりきれず毛布を脱いだ日
全てを破り捨てたくなった日
それでもそれでも僕を離さない
あなたが最後に笑えればいい
あなたが最後に笑えればいい

溜め息灰色帰りの道で すれ違ひざま舌打ちが刺す
道端に揺れる名前もない花 あなたの名前を呼んでみる

4. 鳥の唄 / 神川圭司

作詞・作曲 神川圭司

羽を休めた鳥達は 今も空を飛び続けている
夢を抱えた僕達は 今はどこに向かっているのか？
それなら 今 わかったとこさ

数え切れない道があるから 僕は迷い苦しくて
投げ出せば それだけの人で終わってしまう

鳥は必ず 手に入れる自分達の求めた場所
人はいつしか夢さえも忘れ 今に おぼれて生きる
それなら 今 やめたとこさ

君に告げよう 諦めはしない、だから 今を生きていく
青空を見上げてた あの日の心のように

答えなら 分かるはず 笑いながら
大空を飛んで行く どこまで遠くへ

勝ち取るものは どこにでもある 僕がそれを
求めるなら 終わりはなく 果てはなく
心を高く掲げて 終わりのなき道は続く

5. うつくしい人生 / kanHAAEM

作詞・作曲 kanHAAEM

やがて僕の夢は 枯れるかもね
それならそれでもいいや
燃える花みたいだ
種を蒔く農夫の 固い指は
赤土の染み込んだ 大地のにおい

今をかき色を深め
汗を流し 皺を刻み
あかざれたこの手をみる
誇らしいこの手をみる

Woo Sha la la la
うつくしい人生
Woo Sha la la la
むずかしいとしても
手にいれたんだ 熟した笑顔を

どこまで行くのかな どこまで行けるかな
折りかえず場所は 越えたかな

壁に撞って 挫折なんて
迷路もがき 涙のんで
そのすべてがチカラになる
いつしかチカラになる

Woo Sha la la la
うつくしい人生
Woo Sha la la la
足踏みもあるけど
手にいれたんだ 熟した笑顔を
人を魅せる 大きな心を

6. うそ / kik2i

作詞・作曲 kik2i

小さなうそを1つ2つ 3つ4つと積み重ね
大きな裏切りになった事がありますか？

うそをつき続けたわけじゃなくて
私を見ていて欲しかった
わかまともじゃなくこのうそは
あなたを傷つけたくない優しさ

ついたうそのせいで またうそを重ね
嫌われたくなくて またうそを重ねた

小さなうそを1つ2つ 3つ4つと積み重ね
大きな裏切りになった事がありますか？

裏切られたとあなたは
見たこともない顔で怒って
「本当の事だけ知りたい」と
何度も私にたずねた

ついたうそのせいで あなたを悲しめました
嫌われてしまいうそで 涙が溢れた

小さなうそを1つ2つ 3つ4つとあなたは
飲み込んでいってくれました

こんなうそつきの私の事を
あなたは抱きしめてくれました

小さな愛を1つ2つ 3つ4つ積み重ね
大きな愛になりますように
なりまうように...

7. 赤ランプ / グッド・イズ・グッド！

作詞・作曲 録司 編曲 グッド・イズ・グッド！

真夜中の工事現場 ホコリの舞う国道で
車と闘っている 赤いランプかざして

あのオヤジは六十五 朝まで立ちっぱなしで
何度も頭を下げる 愚痴を言うコトも無い

俺よりも熱い 熱い目をしてる
正直者の強さ滲んでた

アンタにはかなわねえ まだまだかなわねえ
アンタの顔見ると これからって顔してる

ガードレールに腰掛け タバコをくゆらせながら
子供の自慢話を 楽しそうにしている

しゃがれた大きな声と 少し小さな背中で
「オマエも何とかがやれ」と 俺の肩を叩いた

思い知らされる ちっぽけな俺と
優しさの意味と 人の生きざまを

アンタにはかなわねえ まだまだかなわねえ
アンタの顔見ると これからって顔してる

もっつとアンタみたいなのが居りゃ
ずっと街も素直になれるだろう
やつと俺も分りかけきたよ
赤いランプ振りながら...

アンタにはかなわねえ まだまだかなわねえ
アンタの顔見ると これからって顔してる
アンタにはかなわねえ まだまだかなわねえ
アンタの顔見ると これからって顔してる

8. ふらヨロ / Club Begger

作詞・作曲 稲和一

結局フラれたんです 胸に大事にしまってたのに
君が好きだよって 結局言っちゃったんです
手の届きそうな肩越し するりとすり抜け
「冗談キツイよって」君は 笑い飛ばした
結局フラれたんです
ふらふらヨロヨロしながら 夏と消えた恋

「友達のままでもいいよ」だなんて そんなに真つ直ぐ見つめないで
(まだ行けんじゃねえのかって) 諦めの悪さがほら 顔を出す
一所懸命に言い聞かせながら 夏と消えた恋
ふらふらヨロヨロしながら 夏と消えた恋

9. Sweet Boy Black / クロキユウタ

作詞・作曲 クロキユウタ

気がついた時は既に遅い
間抜け面の看守どもの慌てぶり
壊された鍵と書き置き一つ
「Have a Nice Day!」
あのスウィートボーイブラックが塙の外へ逃げ出した
サッチライツが夜の闇かき回すけれど
どこにも彼は見つげられない

駆け抜ける夜の中を
街から街へと
誰にも追いつけないさ
newsが騒ぎ出す頃には
国境を抜けて彼は辿り着くだろう
果てなく自由な
青空の下へ

落ちついた場所は小さな田舎町
静かな暮らして温かな人達
そこで彼は町の娘ナタリアと恋に落ち
町の教会で二人は結ばれた
そこへ突然見知らぬ男が近づいてきて
「年貢を納め時だへい! スウィートボーイ!」

銃弾が頭をかすめた
鐘が鳴り出した
とんだウエディングソングだぜ
花嫁を車に押し込んで どこへなりと逃げるのさ
永遠の愛を
手短かに誓って

駆け抜ける夜の中を
君と二人で
誰も捕まえられないさ
どっち道この世は地獄さ
お集まりの皆様今夜はどんな気分だい?

駆け回れスウィートボーイブラック&ナタリア
二人で世間に一泡ふかせてやろうぜ
「それじゃまず何を盗もうか?」
「そうね」
世界中の退屈でつまらない日常なんてどうかしら?」

それではまた是非お会いしましょう
誰もが夢見るこの世界の
果てなく自由な
星空の下で

10. なみき道 / 斉藤みつる

作詞・作曲 斉藤みつる 鈴: 田井一生

老いた足取りと 跳ねるスキップの
二つの影法師 つながっている
ゆれる木漏れ日と 石畳の上
二人だけの 帰り道
放課後チャイムを 待ちわびるように
陽だまりにブランコ ゆれている
あなたを見つけて 駆け寄る私を
遠くから 探してる
街はずれの なみき道
いつも変わらず あの人が待っていた・・・
目を閉じて 思い出せるだろう
風に揺れる並木道 手をつなぎ歩いた
帰り道 夕日に照らされて
西色の坂道を ゆれる 影法師

かすみゆく記憶 並木のはずれに
あなたが待っていた 小さな公園
タパコ屋の角を 曲がった先には
いつの間にか ビルが建ってる
風にゆれる なみき道
あの日変わらず あの人が手を振った・・・
新しい ランドセル抱えて
桜の舞い散る道を 手をつなぎ歩いた
春色の 霞に包まれて
飛んでゆく 笑い声
雨の日も 一つ傘の下で
柳ゆれるあの道を 歌うたい歩いた
水たまり アメンボ蹴散らして
水色の 長ぐつ 跳ねる

街はずれの なみき道
いつも変わらず あの人が待っていた・・・
迷い道 街灯のすきまを
あの人を探して 泣きながら歩いた
並木道 木漏れ日 石畳
思い出の 帰り道
目を閉じて 思い出せるだろう
風に揺れる並木道 手をつなぎ歩いた

帰り道 夕日に照らされて
西色の坂道を ゆれる 影法師

11. ギアトレイン / shiro

作詞・作曲 shiro

まるでおもちゃのロボットみたい
感情も無く一定のリズムで
歩く僕は今日もただの「はくるま」
朝になっても目は覚めなくて
いつもなるアラームにも慣れて
むなしくずっとそこで鳴り続けている
ようやくベッドから出た僕は
ぼんやりとテレビを見つめていた
そんな中食べた朝食の味
なんて覚えてはいなかった

「はくるま」みたいに同じ日々の繰り返し
生きている実感なんてほとんど無かった
それでも自分の価値を証明するため
今日も回る回る

無駄に長いだけの打ち合わせ
何の効果があるのだろうか?
上司の電声を聞いていても
もはや何も感じなかった
自分に与えられた仕事を
今日も淡々とこなしていく
ふと我に返って思うんだ
何のために働いているのか?

「はくるま」みたいに同じ日々の繰り返し
生きている実感なんてほとんど無かった
それでも自分の価値を証明するため
今日も回る回る
回されるだけの人生に意味なんてあるのか?
回される事がそんなに悪いのか?

「はくるま」みたいに同じ日々の繰り返し
生きている実感なんてほとんど無かった
「社会のはくるま」そんな言葉が嫌だった
回っていることが生きている証なんだ
だから僕は自分自身のために今日も
回る回る

12. 落とし物 / 須藤理希

作詞・作曲 須藤理希

嫌な事、苦しい事、日々流れてく湯の溜った滴で
ポツリと付いた点が少しずつ広がっていく様で
そんな時にはいつも決まって
目を閉じ、暗がりから、いつかの日々へタイムスリップして
きつと大切なハズだったモノがこぼれ落ちてしまった
どこで無くしたんだろう?

いつから誰かの優しさを疑って
誰かの悲しみを遠目に見て
誰かの愛に書き換えていった
形を変えてしまった想いに少し戸惑ってしまうよ
いつか描いていた優しさがあって
描いていた喜びがあった
描いていた愛が僕にもあったんだ
無くして胸に閉まった想いの探し方を知らずに
日々が過ぎていく

嫌な事、苦しい事、日々流れてく湯の溜った滴で
滲んで染みて汚してしまった沢山の言葉達
もって優しくありたいのに

いつから誰かの理想を嘲笑って
誰かの迷いに添えられて
誰かの答えを突き放してんだ
形を変えてしまった想いに大分戸惑ってしまうよ
いつか描いていた理想があった
描いていた道筋があった
描いていた答えが僕にもあったんだ
落とし汚れてしまった想いの洗い方を知らずに
日々が渦巻く

初めての気持ちも薄れて霞むから
見落とさない様に
また一歩二歩三歩って噛み締めてそこから抜け出して
強さを求めてく

いつでも誰かの優しさを分け合って
誰かの悲しみに寄り添って
誰かの愛に喜んで涙したり
形を変えていくんだ想いは僕らに出会える度に
いつか描いていた優しさをきつと
描いていた喜びをもっと
描いていた愛をずっと愛せれる様に

いつか落として散らばった想いが
僕を照らしてくれる様に
今を生きていく

13.深海／センターフィールド中野

作詞・作曲 センターフィールド中野

水平線の向こう側 落ちる彗星を眺めては
まだ呼吸の仕方が上手く出来ずに地面に目を落とす

深海の生物は過去を 背負いながら今を生きて
潜り込んだ闇の中で光輝くものを探す

どうして？なんて分からない
うまく言葉にできない
僕は僕で君は君だと頭の中でリフレインする

神話に沿って星をなぞって
少し付け足して僕の物語
それで満足？微笑む顔
抜け出す一歩を

暗闇の中ずっとこうして
溶ける日を待ちわびてる それだけじゃ
眩しく光る太陽の光さえ届かない
この場所で生きる

クジラと一緒に泳ぐ
鼓動を感じ眠る

繋げたモンが分からなくなって
グジャグシャ引き裂いて君の物語
それで満足？微笑む顔
抜け出す一歩を

生まれた意味が何処にあるか
探す事諦めたフリをしながら
波に揺られて骨の帰る所を探すつもり

14.Hum／タカスギケイ

作詞・作曲 タカスギケイ

15.My Friend／TAKE

作詞・作曲 TAKE

夢だけ見て走ってる お前はいつもへらへら笑ってる
そんなお前を僕はいつもうらやましくみてた
だけどそんなお前がさ
夢って一体なんだろうって
寂しげに呟いていたとても寂しそうに

ずっと全力で走ってきたお前だから
たまに立ち止まってゆっくり休んでもいいんじゃないの

Hey My Friend
いつも僕にがんばって歌ってくれたお前だからさ
Hey My Friend
今度は僕がお前に歌う番だよ

お前いつも歌ってたろ 真っ直ぐな道に近道はない
今は曲がりくねった道でも 振り返りゃ一本道さ

みんなは言うさ 夢だけじゃ飯は食えねえぞ
でも、やりたくねえことやって
食ってる飯はそんなに美味しいのかい？

Hey My Friend
やるだけやれよ お前が信じた道だろう？
Hey My Friend
弱音は吐くな 止まない雨はないんだろう？

Hey My Friend
くじけそうな時は また俺のところに来ればいい
Hey My Friend
そして酒でも飲んで管巻いてまた笑おうぜ

Hey My Friend

DISC_2

1.ある老犬の屋敷／たろすけ

作曲 たろすけ

2.夏休み／TeLMA

作詞・作曲 TeLMA

今も覚えている
幼い日のこと
田んぼの泥にまみれてはしゃいで
はしゃぎあってた
水たまり通り雨の後の濡れたTシャツ
いつまでも遊んでいたよ

日が暮れるまで
家に帰れば甲子園、ナイター中継
みんなでスイカを食べて夏は過ぎてく

懐かしい蚊取り線香の匂い
夕涼み火火、夏祭り肝試し、蝉時雨
月明かりのキャンプ

今も夏が大好きさ幼い日のように
川辺でみんなて楽しくはしゃいでバーベキューをしよう

夏休みの宿題は大っ嫌い
自由研究持ち寄ってみんなで
結局忘れて遊んで
ヤバイ夏休みが終わる

夏祭りのあの子の浴衣姿
忘れない気持ち
夜空を見上げて手を繋いでたね
花火大会
今も変わらないものはいっぱい
変わったものもある
子供の頃のラムネじゃなくて
ビールで乾杯

3.花／DRIED BONITO

作詞 武島羽衣・作曲 滝廉太郎

春のうらの 隅田川
のぼりくだりの 船人が
權のしづくも 花と散る
ながめを何に たとふべき

見ずやあけほの 露浴びて
われにももの言ふ 桜木を
見ずやたくれ 手をのべて
われさしなく 青柳を

錦おりなす 長堤に
くるればのぼる おぼろ月
けに一刻も 千金の
ながめを何に たとふべき

4.月はポケットに隠して／西海シゲルとアラケン

作詞・作曲 西海シゲル

風が気持ちいい夜 ノースフェイス コンパース
風が気持ちいい夜 山手線の内側

風が気持ちいい夜 かすかにキンモクセイ
風が気持ちいい夜 総武線の南側

不思議な夜 誕生日も知らない君と

風が気持ちいい夜 雲が月をかくす
月が雲から顔出す 風がやさしい夜

ポケットの中にはねー

照明灯起えたら イチョー並木
自然に肩並べる 銀座線の真上

5.In This World／NUEST YUJI

作詞・作曲 Yuji Ushirohichi

手繰り寄せて 紡いだ キミの言葉 届かない
そのリビートにキミは 自分を疑い出す
ったく、もう！バカだな・・・

In This World, we go, ボクがいるよ, honey
Everybody, go, belief and proud, we'll go・・・

寂しいから 閉ざした 出会いや夢 遠ざける
世界中に背中向けて シンケこむベットのシェルター
出て来なよ そろそろ・・・

In This World, we go, キミといくよ, honey
Everybody, go, belief and proud, we'll go, honey,
Everybody, go, baby, Everybody, go,

Everybody, go,

In This World, we go, キミといくよ, honey
Everybody, go, belief and proud, we'll go, honey,
Everybody, go, baby, Everybody, go,

Everybody, go

6.アポ／野良

作詞・作曲 野良

鈴：田井一生

なあ アポ 今見てるか？まだどこかで針が降ってるよ
なあ アポ 聞こえてんだろ？
誰かの腕の中歌っているのかい？
アポ

なあ アポ 針が降ったら歌ってくれた
お前の歌は心地よかった
なあ アポ お前という時は
頑張らなくていい そう思えて救われたんだ

なあ アポ お前と見ていた世界は
半透明で 滲んでて 本当美しかった

また会えるかな 見られんのかな
鳴いてるお前と 泣いてる地球
まだどこかで針は降っているよ
降っていてほしい お前とまた出掛けたい

針が鬱陶しいと避けたがる
誰かが空一面 屋根を張った
針は降らなくなって お前の歌も消えた
あの軽やかなよろこびの歌

また会えるかな 見られんのかな
鳴いてるお前と 泣いてる地球
まだどこかで針は降っているよ
降っていてほしい お前とまた出掛けたい

なあ アポ 鬱陶しいもの
全部取っ払った世界はなんかつまらないや
なあ アポ 聞こえてんだろ？
また聞かせてよ あのよろこびの歌

なあ アポ 今見てるか？まだどこかで針が降ってるよ
なあ アポ 聞こえてんだろ？
誰かの腕の中歌ってるのかい？

7.farewell／長谷川光志

作詞・作曲 長谷川光志

everybody スマイルをサニー・デイ
明るい彼が行くよ
楽しいことも悲しいことも
共にした相棒さ
everybody 愛をその手に
笑いながら行くよ
手を振りましょう
見えるように
たまには会いに行くよ

everybody クラップ！
そう宴に
歌い踊ろう声の限り
everybody 愛を彼に
ほら今日は旅立ちだよ

絵になるよ今日の白がもしも落ち込んだら
思い出すよ君の笑顔に
いつでも会いに行くよ

everybody クラップ！
そう宴に
歌い踊ろう声の限り
everybody 愛を彼に
ほら今日は旅立ちだよ

おかしな模様の罫があとをついてくるよ
今日も君を思い出してる
いつでも会いに行くよ

ララララ・・・
楽しいことも 悲しいことも
共にした相棒さ
いつでも会いに行くよ
いつでも会いに行くよ

8.森蔵寺西／畑崎大樹

作詞・作曲 畑崎大樹

入り口の所に突っ立って外を見る
外は大変なことになっているけど
信号が変わる 車が走る

森蔵寺西交差点

角のタバコ屋はマンションになった

道を挟み 二つ目の角はコンビニエンスストア
その上には俺は住んでいた
住んでいた頃も3月に大変なことがあった

森蔵寺西交差点

あの頃より光明るくなった

俺の出番はまだだ でももうすぐだ
ステージの後ろ三つ目の角は中華料理屋
桃色の違和感に負けるな

森蔵寺西交差点

祭りの日 大勢の人 提灯が並ぶ
一年で一番賑やかになる

また信号が変わる 車が止まる
見たことあるような
知っているような人が歩いている
四つ目の角の階段を上ると
入り口の所に俺は立っている
そろそろ歌うよ

森蔵寺西交差点

愛を込めて歌うよ

大丈夫だ 外は大変なことになっているけど
大丈夫だ なんともかなる
大丈夫だ 何かあろうとも

感謝の気持ちを言葉にするとしたら
きっと「ぴったりの革ジャンが見つかります！」

9.フランクシーなビートに乗かって…／みつを

作詞・作曲 みつを

フランクシーなビートに乗かって メチャクチャなダンス
デタラメなステップ
間違えたって いいんです いいんです

高笑い声をかせて クシャクシャなスマイル
微かにズレたメロディー
間違えたって いいんです いいんです

浮かぶ白い雲を 捕まえたんだって
広げた手の中に 空があるんだって
笑ってみせた 空が観えた

クレイジーなリズムで腰を振り 舞い上がってジャンプ
昨日よりももっと高く
飛べたら いいんです いいんです

深く息を吸って 夜空に飛び込んで
星の隙間をぬって 泳いでみせるんだって
オドけてみせた 眠い目ですってだ

good sleep good sleep

無防備に力を抜いて眠るから
見つめることが出来るのさ月を
明日は笑い声が聴こえてくるから
見上げることが出来るのさ太陽の真下で

フランクシーなビートに乗かって…
デカい口で笑った

10.シャム猫のブルース／ミヤト

作詞・作曲 ミヤト

踏切が遠ざかる 百合ヶ丘から下北まで
僕らの身体は走る 君も乗せて
駅まで快速だといひ 座れる席があればもっといい
あとちょっとがいいつも遠いけど
それくらいがいい きっときょうといひはす

街はとても穏やか あの坂を下る
迎えてくれた空気があまりにも居心地がいいから

うたを歌う シャム猫ブルースさ
好きかい？ちょっと聞いてつてくれよ
うたを歌う うたを歌う
睡閉しても僕が浮かぶように

踏切が遠ざかる 小田急線沿いを上る
僕らの身体は走る 君も乗せて

各停で進むのも一興 わざと目指す時刻はもうすぐ
変わらないことを望んでいる自分が
邪魔することもあるだろう

僕のうたを聞いた君を 違う角度で見たい
微笑んだ横顔を その後ろ姿を

うたを歌う 寂しいならここにきて
一緒に口ずさもうよ
うたを歌う うたを歌う
1人じゃないよ さあ手をとりよう

その優しさを分かってくれる人は少ないんだろうね
僕だけじゃだめかな 僕だけではダメなんだよね分かるよ

うたを歌う シャム猫ブルースさ
好きかい？ちょっと聞いてつてくれよ
うたを歌う うたを歌う
君のために歌うよ
うたを歌う 戸惑う気持ちも歌おうこれからの未来も
うたを歌う うたを歌う
僕が歌うと君は笑うから
だから歌う

11.LION／808

作詞・作曲 中山八大 ギター：畑崎大樹
エレキギター：タカスギケイ

遠き通る空の色 あの日の匂い
もう何度も 巡り来る冬を超え
始発列車送り出した
セントラルステーション
これから始まるあことに震えてた

LION

味える意味がない

LION

味える意味なんてない

鉄格子 木漏れ日が
筋になった
朝のこない明日はないんだ

LION

味える意味がない

LION

味える意味なんてない

LION

このまま僕ら何にもしないなら

LION

お前の顔になってもいい

12.love song./有美

作詞・作曲 有美

通り過ぎてく風が 季節の変わり目を告げて
もうこんなに時が経ったの あなたを好きになつて
季節が変わる前にあきらめようともした
だけとできない こんなにも大きくなる気持ち

すき すき すき あなたに伝えたい言葉はたったこれだけ
ずっと云えずにいた
すき すき すき たとえ 別な誰かを好きでいても
この歌はあなただけに歌う love song.

通り過ぎてく 恋人たちが 寂ましく見えて
いつか わたしも こんな風に この海をあなたと
二人で歩けたらなんて叶わないかもしれない
だけど 伝えたい こんなにも あなたを想う 気持ち

すき すき すき この想いは誰にも説明できないくらい 特別
すき すき すき この先 何が起きたとしても
この歌はあなたにだけ あなただけに歌う

love song.

13.ルシファー／吉本ヒロウ/ウッシー

作詞・作曲 吉本ヒロウ

羊飼いの夢の中
真夜中の星達が囁く
あの子起きてしまわぬように
あたしが鍵を開けてあげる

望んでくれるのならば
君をどこでも連れてゆける
何にだってなれるから
認めちゃいなよ

七色の魔法かけちゃうから
覗き込んでいて

夢の中駆けて君の大事な記憶を盗むの
見つめていてあっと言う間に食べちゃうから

あなたのそれ嫉妬でしょう？
都合のいい言葉ばかりじゃん
疑うことを忘れた
空っぽの奴らとは違う
抜け殻のカラダで
人任せな頭で
あたしは決して折らない
恩恵なんか求めない

あたしは許しを乞わないから桶突くんだ！

成れの果て他の誰かに後指さされても
もう決めたのあたしはきつと逃げ出さない

嘘みたいにも美しく散るのならそれもいいかもね？
わかっていたの それでも勇気を失くさない

夢の中駆けて君の大事な記憶を盗むの
見つめていてあっと言う間に食べちゃうから
星達は稲妻のように空から落ちるだろう
暗闇を照らす君の灯火であれ

あたしこのまま止まらない
あたしまたまた止まらない

14.時計／RIRI

作詞・作曲 RIRI

「行かないで」 口に出た言葉
目が覚めた 手を伸ばしたまま

ほほ残る 鏡に映った 涙跡
半年前 別れた君
どうして今でもまだ 夢の中にいるの

2人で分けた ハンバーガー
今は頼めない
2人で行った 遊園地
もう笑えなくて

君は今 知らない街で
誰と一緒に 過ごしてるの？
私だけ あの雨の夜から
動かない時計を 外せない

フリをした 他人の好きと 無理矢理に
忘れたはず 失くした恋
それでも気づけばすぐ 君探している

1人で見るショーウィンドウ
全部つまらない
1人で歩く 坂道
登りきれなくて

分岐点 選び直せば
2人のままで いられたかな
一度きり 君が見せてた涙
戻れない 答えを 教えてた

「行かないで」 口に出た言葉
目が覚めた

分岐点 選び直せば
2人のままで いられたかな
私だけ あの雨の夜から
動かない時計を 外せない